

## 新笠松音頭の踊りを 小学生に伝授 笠松町婦人会

「ハアー 美濃の笠松 チョイト 絵になる姿」と三橋美智也の高音の美声ではじまる新笠松音頭に合わせ、笠松小学校3年生56人が、笠松町婦人会の皆さんの指導で一生懸命踊りを練習しています。

笠松小学校では、笠松で受け継がれている新笠松音頭の踊りを地域の方たちから教わることにより、児童たちに地域に伝わる文化や伝統を受け継ぎ、郷土への愛着を高めたいと8年前から授業で取り組んでいます。

9月20日、笠松小学校運動会で、3年生をはじめ、婦



婦人会の指導で歌にあわせ練習する児童たち

人会、保護者など世代を超えた実に多くの方が、運動場いっぱい輪になって楽しく新笠松音頭を踊りました。

## カメラの眼 まちの出来事



本番さながらに被災者をトリアージする医師たち

## 大地震を想定した 救助訓練 郡広域連合消防本部

羽島郡広域連合消防本部は10月3日、松波総合病院と合同で多数傷病者発生訓練を実施しました。

今回は、大地震で中央公民館の一部が崩壊し館内で異臭が発生し、多数の負傷者が出たとの災害想定のもと模擬負傷者を救出。症状により緊急度や重傷度を判定し、治療や搬送の優先順位つける「トリアージ」をした後、松波総合病院に搬送し応急処置や治療を行う訓練内容でした。

消防本部では、事後の検証会で訓練結果の分析と今後の対応組織力の向上に取り組んでいきます。

## 児童が鮎鮠運びを再現 町文化協会主催

第2回まるごと鮎鮠街道inかさまつは10月13日、100人が参加して行われました。

江戸時代の笠松は、岐阜で作られた鮎鮠を将軍に献上する街道の宿次がありました。

このイベントに参加した笠松小学校6年生13人は、江戸時代の模様を再現し、鮎鮠街道にそって福祉会館前から笠松みなと公園の石畳を下って川原まで運びました。

児童たちは当時の姿で、宰領を先頭に3つの鮎鮠荷を担ぎ、笠松問屋の高嶋邸で、鮎鮠荷の受け渡しの口上を述べ合い、江戸時代毎年行われていた鮎鮠の搬送の歴史を体験しました。



高嶋さんが見まもる中、鮎鮠荷の受け取りの口上を述べる老田君と宰領役の伏屋君(右)